

薬物乱用防止に関する決議

今日、覚せい剤、大麻、危険ドラッグなどの薬物の乱用が深刻な社会問題となっており、これらの薬物は、一度でも手を出すと、自分の意思では、止める事が極めて難しく、自らの体や心を蝕むだけでなく、家族や周りの人々の人生をも、取り返しのつかないものに、してしまうため絶対に使用してはいけません。

警察庁は2020年の大麻事件の摘発者数が前年比713人増の5034人で過去最高を更新したと発表し、7年連続で増加の一途を辿り、その半数以上が10代及び、20代の若年層で深刻な問題となっている。

先に起きた、当時現職の宇美町議会議員であった者が大麻取締法違反（譲渡）で逮捕、有罪判決を受けた事件により、宇美町の名が不名誉な形で全国に知れ渡る事となり、町議会として、町民の皆様、沖縄県民の皆様に変更して深くお詫び申し上げます。

現職の町議が大麻取締法違反で逮捕されたという事だけでも、重大な問題であるとともに、沖縄県の高校生の間で広まっている大麻の流通に関与していた事実は、沖縄県民の皆様、宇美町町民の皆様に対する最大の裏切り行為であり、本人は既に辞職したとはいえ、同じ職責を担っている私たち議会議員として、情けなく、強い憤りを感じております。

覚せい剤、大麻、危険ドラッグ等の薬物の魔の手が、私たちの身近な社会にも浸透している事を思い知らされた衝撃的な事件で、この事件を議会として重く受け止め、再び信頼を損ねる事のないよう、改めて自らを厳しく律し宇美町議会議員一同、信頼回復に全力で努め、このような事件を二度と繰り返さないために、私たち一人ひとりが薬物乱用問題に対する認識を高め、家庭や職場、更には地域が一体となって、「ダメ。ゼッタイ。」「薬物乱用は絶対にしない・させない・許さない」という強い意志を示さなくてはなりません。

よって、宇美町議会は薬物乱用の防止を強く呼びかけるとともに、関係機関・団体との連携を強化し、宇美町が一丸となって薬物乱用防止に向けて、全力を挙げて取り組むことを、ここに宣言いたします。

令和3年6月7日

宇美町町議会